

りんくる地域福祉新聞

石狩市の様々な地域福祉の話題を取り上げて提供する「りんくる地域福祉新聞」第25号です。いつも地域の会館等への掲示にご協力をいただきまして誠にありがとうございます。これからも地域の話題をたくさんお届けしてまいりますので、よろしくお願いいたします。

「来客の地域づくり」を推進します

社会福祉協議会では、平成29年4月より石狩市から生活支援体制整備事業を受託し、「生活支援コーディネーター」を市全域1名、旧石狩区域2名を配置しました。(厚田区・浜益区は市職員がそれぞれ1名配置されています。)

これは、団塊の世代の方が75歳を迎える2025年に向けて、高齢になっても住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活が継続できるように「介護予防」を重視しながら、住民の方が主体となつて助け合い・支え合い活動ができるような「地域づくり」に取り組むものです。

具体的には、楽しみながら気軽に集まれるサロンのような「通いの場づくり」と、生活の中での困りごとを、地域にお住いの方をはじめ社会福祉協議会や行政、お店や会社など地域全体で話し合えるような「話し合いの場づくり」をしていきます。

前回の壁新聞で紹介したふれあ



いサロンのような、すでに地域のみなさんが行っている活動を大切にしながら、担当の職員が地域に足を運び、みなさんと一緒に「支え合いの地域づくり」をすすめていきます。

写真は地域の活動にお邪魔して、担当職員のあいさつと、事業の説明をさせてもらっているところです。

他にもお邪魔した地域の活動をいくつかご紹介いたします。

日々のお困りごとや楽しみごとなど生活支援コーディネーターに教えてください。

お腹を満たした後は、ダーツゲームにトランプゲーム。それぞれやりたいゲームに参加し、会場のあちらこちらから大きな笑い声が。ゲームとは言えども真剣勝負。どのゲームも白熱し、とても賑やかな会となりました。



4月25日火曜日、花川南第一町内会のふれあいサロン会食会にお邪魔しました。毎月第4火曜日に、コスモス会館にて行っています。この日は、総勢60名程、参加されました。毎月、大勢が集まる大きな会となります。

昼食は、毎回役員の方々が朝早くから仕込み・準備を行います。この日は、ハッシュドビーフに、参加者の方からの差し入れの山菜を使った料理が振る舞われました。皆さん、大満足の様子でした。

花川南第一町内会「ふれあいサロン会食会」

《第25号》
石狩市社会福祉協議会 発行

みんながつながる計画です
りんくるプラン
この壁新聞は、地域福祉推進を目指す「新・りんくるプラン」に基づき発行しています

福祉協力員とは

地域の心配な方(一人暮らし高齢者、障がいをお持ちの方、等)に、

- ・挨拶
- ・声掛け
- ・電話、自宅訪問 など

日常的にさりげない見守り活動をしてくれる町内会班長や地区社協構成員、高齢者クラブ会員、近所の方などのみなさまです。

4月17日曜日、わかば会館にて北陽町内会の福祉協力員説明会を行いました。福祉協力員の方をはじめ、町内会長や民生委員さんなど17名の方に参加していただきました。

見守りに関する注意事項や活動の説明をして、最後に福祉協力員の登録証を授与しました。



北陽町内会「福祉協力員説明会」

新聞に関するご意見・お問い合わせは、石狩市社会福祉協議会まで!



(Tel: 72-8184)

この壁新聞は、赤い羽根共同募金の助成を受けて作成しています。

りんくるちゃんのつづき



【4月14日】本日、石狩市民生委員児童委員連合協議会総会が開催されマシタ☆来賓として白井副市長と社協北原会長にご挨拶頂きマシタ☆来週も団体の総会が行われますので、お知らせいたします!

りんくるちゃんツイッター 検索



石狩市身体障害者福祉協会の創立60周年の記念式典が、4月21日にりんくるにて開催されました。小松田会長のあいさつをはじめ、表彰を行った式典と、会食と余興で盛り上がった祝賀会が行われました。60年という長い歴史を歩んでこられた同協会のみならず、誠におめでとうございます。

石狩市身体障害者福祉協会 祝創立60周年